



2013年11月15日
株式会社損害保険ジャパン
日本興亜損害保険株式会社

「SAVE JAPAN プロジェクト」が 「生物多様性アクション大賞 2013 審査委員賞」を受賞

株式会社損害保険ジャパン（社長：櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）と、日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮雅也、以下「日本興亜損保」）は、11月3日、NPOなどと協働で行う「SAVE JAPAN プロジェクト」が「生物多様性アクション大賞 2013」において、「審査委員賞」を受賞しました。

1. 「生物多様性アクション大賞」の概要

「生物多様性アクション大賞」は、「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推進する「MY行動宣言 5つのアクション」を参考に、5つのアクションに即した活動を表彰するもので、生物多様性の社会への浸透を目的に2013年度からスタートした表彰制度です。122件の応募の中から、「MY行動宣言 5つのアクション」である「たべよう」、「ふれよう」、「つたえよう」、「まもろう」、「えらぼう」の5部門で団体・個人の取組みが表彰されました。損保ジャパンと日本興亜損保は、NPOなどと協働で展開している「SAVE JAPAN プロジェクト」で「まもろう部門」に応募し、「審査委員賞」を受賞しました。

主催：生物多様性アクション大賞実行委員会（「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」）、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、一般社団法人CEPA ジャパン

2. 今回の受賞について

損保ジャパンと日本興亜損保は、自動車保険のWeb約款/Eco-Net約款などの推進と連動し、全国の環境NPOや地域の市民活動を支援するNPO支援センター、日本NPOセンターと協働で、市民参加型の生物多様性保全活動を行う、「SAVE JAPAN プロジェクト」を展開しています。

審査では、「SAVE JAPANプロジェクト」の「多様なセクターが協働し、全国各地で市民参加型の生物多様性保全活動が行われている点」、「Web約款/Eco-Net約款の推進を連動させるなど、事業活動に組み込んだ仕組みとなっている点」などが高く評価されました。

（SAVE JAPAN プロジェクト専用ホームページ：<http://savejapan-pj.net/>）

3. 今後について

損保ジャパンと日本興亜損保は、今後もNPOなどとの協働を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上